

第3回

川根地域公共交通ワークショップ 開催レポート

令和7年8月19日 @川根地区センターちゃくら 研修室



川根地域の将来の公共交通について考えるワークショップの第3回を開催しました。

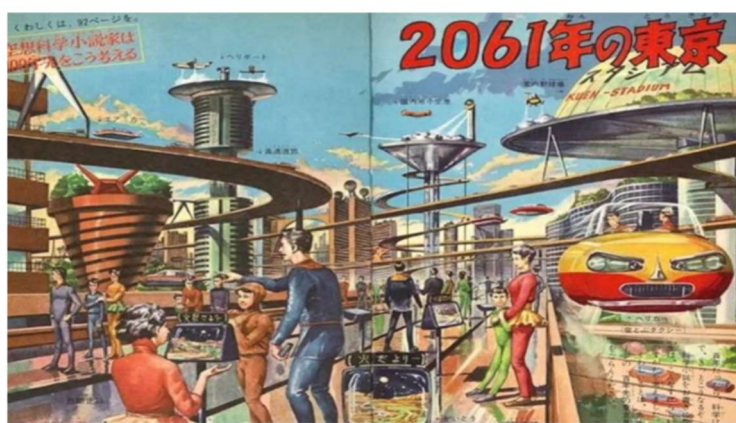


第3回ワークショップのゴールと方向性（市からの説明）

ワークショップの参加者が根本的に解決すべき課題を見つけ納得するとともに、持続可能であり未来的な発想に基づいたワークショップを行うために【未来人になる（できないを考えない）】をテーマに、ワークショップを行いました。



ウォーミングアップ【未来人になる】（未来的な発想）



※1961年に「空想科学小説家」が考えた100年後の未来の図
（出典）「たのしい四年生」1961年1月号口絵 伊藤展安／画 福島正実／案

数十年前に『100年後の未来図』として扱われた空想世界も、100年も経たないうちに、今では現実になっている事例の紹介を行い、『今の知識や科学では解決できない課題でも、未来人になら解決できる。』ことを実感し、未来的発想になじむウォーミングアップを行いました。

ウォーミングアップ

（話し方の例）※未来人になったつもりで現代を語る。

「わー！〇〇〇だ！懐かしいな～！昔はこんな風だったんだね。今は〇〇〇になっているのに…」

（今の当たり前が、未来では過去のモノになっているかも…）



グループワーク 1 「未来人として運行方法を語る」

今ある課題を解決するのが、今の知識や科学だけとは限りません。自由な発想「できないを考えない」をベースに、未来人の視点で運行方法を語ってみました。

【未来人大喜利】※100年先の未来人になってひとこと

そうそう！
昔々、令和のころは
[] が [] だったけれど、
100年後の今では、[] になっているよ。



※小道具（未来人になるかんむり）

グループワーク 1 で出た主な意見

A班

「そうそう、昔々、令和のころは、[地域ボランティア] が [みんなを送迎] していたけれど、100年後の今では、[すべての車がアプリに繋がっていて、マッチングすればどの車でも相乗りできる] ようになっているよ。」

B班

「そうそう、昔々、令和のころは、[移動] は [必要に迫られてだった] けれど、100年後の今では、[手段が自由に選択（自宅に届く、曜日は関係ない、どこでもドア）できるようになった] から移動しなくても楽になっているよ。」

C班

「そうそう、昔々、令和のころは、[免許を返納した人の移動] は [公共交通] しか移動手段がなかったけれど、100年後の今では、[免許がなくても、子供でも高齢者でも、誰でも自動運転で移動ができる] ようになっているよ。」



4 グループワーク 2 「KAWANEで暮らす」

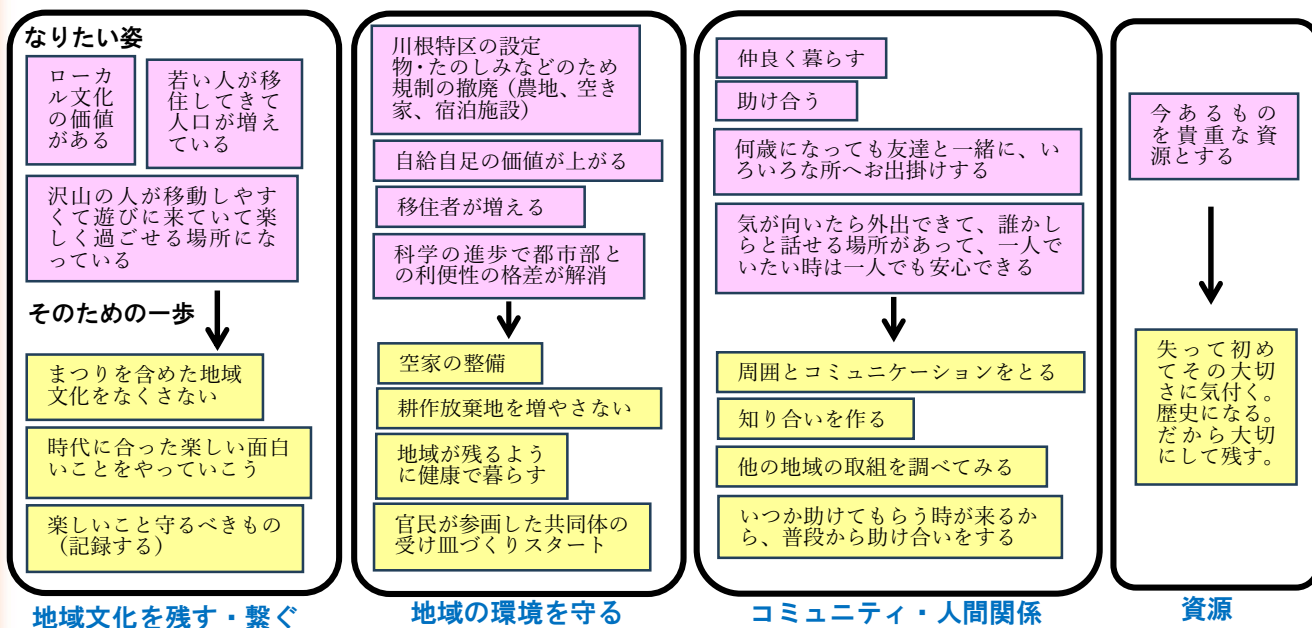
どうやって川根でこの10年間に幸せに暮らしていくか？【なりたい姿】

⇒そのためにできることは何か？【そのための一歩（未来人からのアドバイス）】

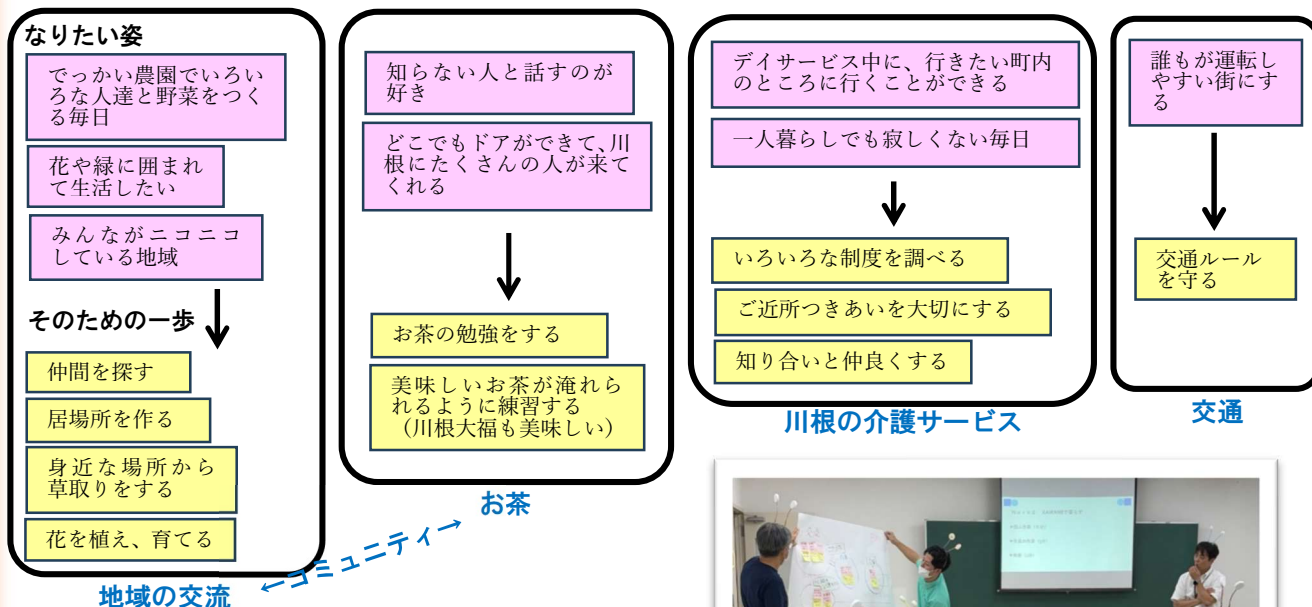
未来的な発想で「これからの川根」をグループで話し合いました。

グループワーク 2 の発表

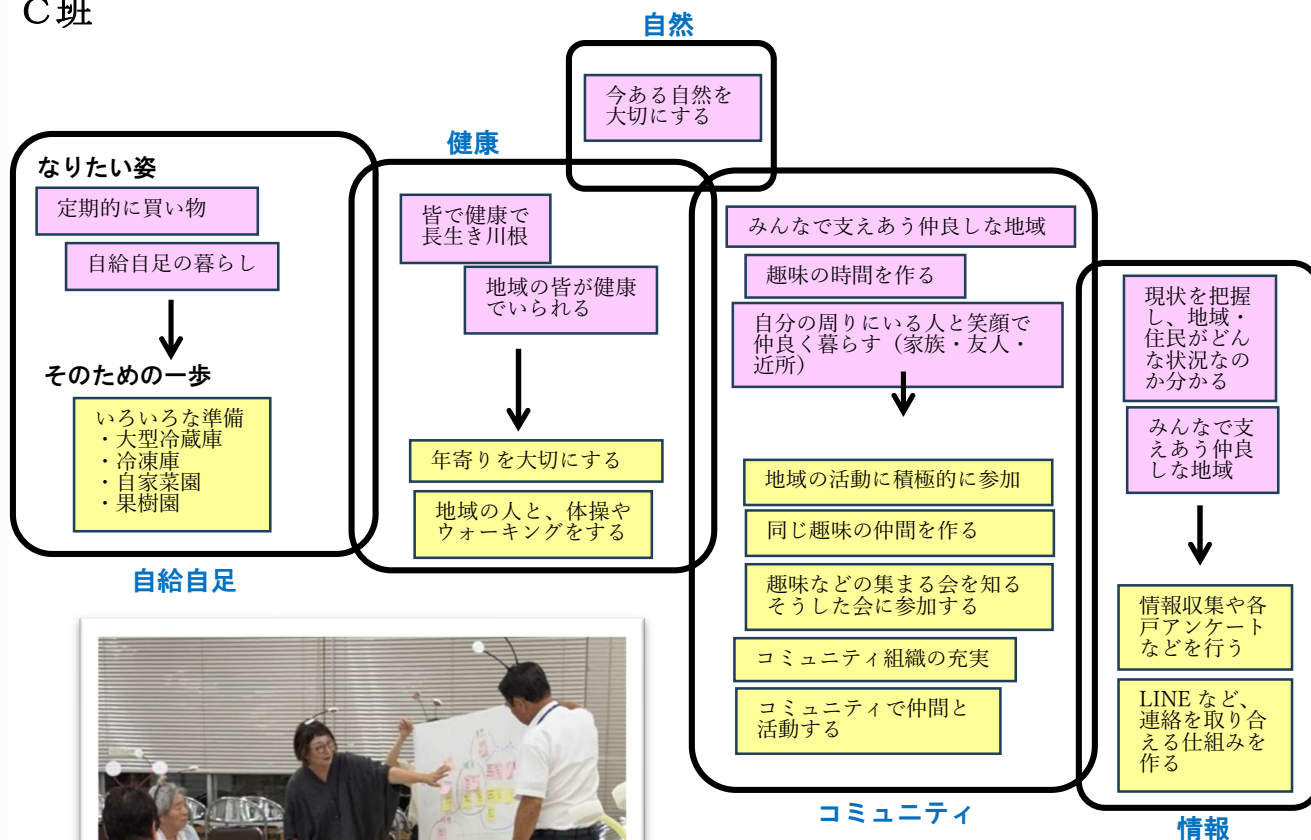
A班



B班



C班



次回のワークショップについて

今回のワークショップでは「未来人からのアドバイス⇒未来的発想」という新しい考え方を取り入れて、これからも川根で幸せに暮らしていくために、今から（これから）どうしていったら良いかということについて、皆で話し合い、地域の繋がり（コミュニティ）の大切さを再確認しました。

次回は、この気づきを踏まえ、今後の新しい移動手段の実現に向けて具体的な取組の内容を考えていきます。

公共交通ワークショップ 事務局

島田市 地域生活部 生活安心課 交通防犯係(担当:森下)

〒427-8501 島田中央町1番の1

電話 0547-36-7144

メール anshin@city.shimada.lg.jp